

主な町内会活動

- ・まつり
- ・防災訓練
- ・防犯灯や防犯カメラの管理
- ・盆踊り
- ・防犯パトロール
- ・ごみステーションの管理
- ・運動会
- ・子どもの見守り
- ・公園の清掃 など

※活動内容は団体により異なります

牛山区と連携し、運行が実現した北部オンデマンドバス



出発式



牛山区を走るバス

「新しい移動サービスの検討が必要」という牛山区と行政の共通認識のもと、「牛山区交通検討会」を立ち上げ、「定時定路線型バス」及び、「予約型バス」の実証実験を実施。その後の検証を経て、7月から「北部オンデマンドバス」（予約・呼出型）の運行が開始されました。

街づくり支援制度を活用した道路の整備



整備前



整備後

「狭い道路を広くしたい」など、生活環境の改善を図るために、地域の皆さんが主体となって行う街づくり活動に対して、市が費用・技術の両面から支援を行う制度です。皆さんが話し合って作成した道路拡幅等の計画を基に、市が整備を行っています。

※街づくり支援制度については都市政策課へお問い合わせください。

問い合わせ

市民活動推進課（☎8516617）

人と人をつなぎ、紡がれる絆は、「幸せ」を感じる源になります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで当たり前前に送っていた生活が一変し、人と人とのつながりが希薄になりつつある今、顔を合わせれば笑顔で挨拶をするなど、人の温かさや思いやりに直接触れることで、人と人のつながりを実感することでしょう。

今回の特集では、これまで住み慣れた地域を支えてきた町内会の歴史や歩みを振り返るとともに、コロナ禍でも人と人とのつながりを大切に活動する方々から、まちと人への思いを聞きました。



広報板を見る住民（昭和44年）



盆踊り（昭和45年）



側溝の清掃（昭和49年）

町内会のはじまり

町内会の歴史は古く、古代の集落を起源とし、江戸時代までの村やまちの範囲を基に、日中戦争の頃に組織されたと言われています。

現在の町内会になるまで

戦後、一旦は組織を廃止・解散することとなりましたが、住民自治の確立に向けて再び、町内会は住民自らがまちづくりを担う自治組織としての活動を始めました。その後は、それぞれの地域で、人とまちをつなぐため地域ならではの活動が行われていきました。

地域を育む町内会

現在、市には548の組織があり、それぞれの地域で、地域の皆さんが手を取り合いながら、安全で安心して暮らせるまちをつくるため、日々活動しています。



通学路の防犯パトロール



地域の防災訓練



クリスマス会

地域のつながりが薄くなりつつある

高度経済成長期が訪れ、ベビーブームによる人口の増加、核家族化などにより、次第に地域のつながりが薄くなったと言われています。

さらに、昨年から新型コロナウイルス感染症のまん延も重なり、感染を恐れる気持ちや人と人のつながりにも影響を及ぼしはじめています。

住み慣れた地域を支える町内会

どのような状況においても、町内会活動の本質である、人と人、人と地域のつながりがなくなることはありません。町内会も少しずつ形を変えながら、地域に根づき地域のため、地域住民のための活動を続けています。

町内会は、各地域で、その地域に合った活動とともに新たな取り組みも模索しながら、人と人、まちと人とのつながりが続くように取り組んでいます。

新たな取り組み

回覧板の電子化

ホームページや SNS を活用し、回覧を行っています。

集会の Web 化

ビデオ通話を活用し、集会を行っています。

町内会独自ホームページの開設

区・町内会・自治会の情報を入手しやすく、また若い世代に関心を持ってもらうため、独自のホームページを開設しています。



松河戸区ホームページ

welcome

町内会へ加入するには

町内会への加入は、市民活動推進課に問い合わせるか市ホームページからお申し込みください。



市ホームページ



- ・町内会活動 Q&A・活動事例集
 - ・区・町内会・自治会のしおり
 - ・新型コロナウイルス感染症に関する町内会活動ガイドブック
- ※市民活動推進課で配布（市ホームページからもダウンロード可）



地域をささえる人づくり講座



地域づくり推進大会

町内会のさらなる活性化に向けて

市では、それぞれの地域にあった活動をお手伝いするため、活動の事例集やしおりなどを作っています。また「まちの課題や地域活動の重要性」を参加者同士での意見交換や講義を通じて、「地域活動」について考える「地域をささえる人づくり講座」を年1回開催しています。さらに相互の連帯感を強める自主的な活動を広め、活動のさらなる活性化を目指し「地域づくり推進大会」を春日井市区長町内会長連合会とともに開催しています。



/ interview /

つづき しげのり 松河戸区長 都築恵賢 さん

松河戸町は小野道風生誕の地があると言われており、今年設立40周年を迎える道風記念館があります。平成28年度に区画整理を終え、古くから住まれている人と新しく転居された人が共に暮らすまちになりました。現在では1000世帯を越え、史跡を活用した催しでそこに暮らす人同士の交流を進め、身近な生活の中に歴史とともに人とまちが輝いています。

子どもから高齢者までつなぐ活動

住民同士が結びつくためには多世代の交流が重要だと考えています。令和元年には史跡を活用し、親子で参加できる「スタンプクイズラリー」や子どもから高齢者まで参加する「みんなでラジオ体操」を行いました。

また、情報入手の即時性、若者世代に区について関心を持っていただくため区独自のホームページを開設しています。

これまでの区の歴史を生かしつつ、時代の変化に合わせた取り組みを行っています。感染対策を徹底した上で、皆さんが顔を合わせる機会をつくり、コロナ禍だからこそ支えあう関係であるように、日々活動しています。



スタンプクイズラリー



みんなでラジオ体操

/ interview /

ひぐち せいじ 関田区長 樋口清二 さん

関田区は平成18年度に河川浄化モデル地区の指定を受け、区域内を流れる地蔵川の環境保全活動に取り組んでいます。令和2年度には環境省から水・土壌保全活動功労者表彰を受賞するなど、共に暮らす人々が一体となり、河川の浄化、愛護活動が行われています。



地域の支えが暮らしやすさへ

昨年度受賞した、河川などの環境保全活動で功績のあった団体や個人に送られる水・土壌保全活動功労者表彰。これは皆さんの支えの賜物です。ありがとうございます。

例年、地蔵川で行うクリーン作戦の規模を縮小せざるを得ない状況の中、事前に皆さんが清掃活動を行っていただいたことで、綺麗な川が保たれています。

住み慣れたまちを綺麗にする。それは地域の安全へとつながります。今、人との関わりが制限される中、地域のつながりは大切であると改めて感じます。この先もこういった活動が広がっていくことを願います。



クリーン作戦



表彰後の記念写真